



## 避難訓練実施 9月1日(金)防災の日

本年度の避難訓練は、9月1日(金)、防災の日に実施されました。化学室が出火場所で、教員が教室にいない状態からの避難を想定しました。

- 1 火災発見者が、大声で職員室に火災発生を報告。発煙筒により煙を発生。
- 2 職員室から、全校放送で避難開始を呼びかけ。職員室職員に避難誘導開始を指示。
- 3 職員の誘導により、生徒が本館棟前に避難。到着順に整列。
- 4 生徒、職員の人員確認。

その後、4階の救助袋を使つての降下訓練、実際の火に対して消火器を使つての消火訓練を行いました。

二戸消防署軽米分署長 尾田成人 様から、次の指摘を受けました。

- ① ハンカチを持っていない人、口に当てていない人がいたこと
- ② 私語をしている人が見かけられたこと



「9月1日は、防災の日です。1923年(大正12年)9月1日11時58分、マグニチュード7.9、震度6の地震が起こり、神奈川・東京を中心に190万人以上が被災。死亡、行方不明合わせて10万人以上(当時発表数字)の大惨事となりました。これが関東大震災です。また、8月31日-9月1日付近は台風の襲来が多い二百十日にあたり、1960年に閣議決定により9月1日を「防災の日」と定めたことと。本日は避難訓練ですが、避難で最も大切なことは「自分の身は自分で守る」ということです。」

救助袋は、垂直に下がっていますが、中は袋状にらせんになっています。

- ① 降下中は両腕をあげて、おしりと背中中で滑って降下すること
- ② 足などの突っ張り具合でスピードが出たり、止まったりしますが、実際には前にも後ろにも避難している人が居る可能性があります。注意をしながら降下すること
- ③ 最後の所は、訓練なので今日はマットが敷いてありますが、実際はありません。補助の人と声を掛け合つて、怪我をしないように降りること。

消火訓練では、消火器の取り扱いについて説明がありました。



- ① 薬剤の燃焼時間は15秒~30秒程度
- ② 薬剤の飛び距離は6mほど。
- ③ 外であれば風向きを考える。
- ④ ピンを抜いて、ノズルを火に向ける
- ⑤ 炎にかけるのではなく、燃えている物に掃くように。

軽米分署員の御協力により、火を使った、より実践的な訓練ができたと思います。実際の火の熱さ、煙が立ち上る様子、消火薬剤の飛び方など、生徒たちには学ぶことが多かったと思います。



終了後、本校の担当者に対して、消防署の方からいくつか指摘をいただきました。

- 1 火災のベルが鳴ってすぐに避難を始めた生徒が居る。  
イベントのホールやデパートなど、実際に避難となった際は、まず館内放送を聞く。聞かずに動き出すと、周りを巻き込んでパニックを引き起こす。軽米高校の生徒がパニックの原因でした、とならないよう、しっかりと話をしておいてほしい。
- 2 今回も先生が教室に居ない状態からのスタートであったが、毎年同じ状況の想定ではなく、いろいろな場面を設定してほしい。
- 3 便宜上、本館棟前に避難集合しているが、本来の一次避難場所はグラウンドであることを確認しておくこと。また、出火場所、風向き、HR以外の活動場所からの避難など事前に頭に入れておいていただきたい。

たくさん御指導をいただきました。軽米分署の皆様、ありがとうございました。

### 災害は…

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われたものですが、最近は「50年に一度」が頻繁にやってきます。学校では避難訓練をしていますが、御家庭でも、これを機会に防災について考えてみてはいかがでしょうか。

- ・防災グッズの点検 ・常備薬等を持ち出しやすいようにしておく
  - ・どこに避難するのかあらかじめ決めておく
  - ・基本的に車で移動しない
  - ・避難場所への避難ルートの確認
  - ・家人を探したり、戻ったりしない
- 学校関連
- ・緊急メールの登録をお願いします。
  - ・授業等で学校にそのまま避難する場合、ご家庭に戻さない場面も想定されます。ご家庭へ戻す際は、ご家族へ引き渡すこととしております。



### 軽高祭がやってくる

日時 10月7日(土)  
10時~15時

内容 ステージ発表 模擬店 各種展示など

ご来場、お待ちしております。

平成29年10月7日(土) 10:00~15:00  
ステージ発表、模擬店、各種展示など  
岩手県立軽米高等学校